

1864  
2008  
4/15

# 府職の友

発行所/大阪府関係職員労働組合  
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59  
電話 06(6941)351・内線3740  
直通06(6941)8079 FAX06(6941)4541  
Eメール info@fusyokuro.gr.jp  
URL http://www.fusyokuro.gr.jp  
発行人/平井賢治 編集人/西村浩美  
(1部10円 組合員の購読料は組合費に含まれています。)

なくせ! 貧困と格差  
働くルールの確立を

第79回メーデー  
5月1日(木)  
扇町公園  
ほか各地域で開催



喫茶店交流会(病院労組)

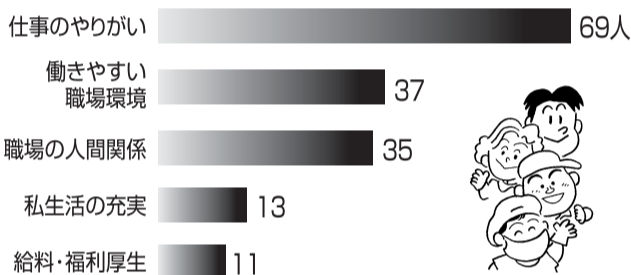
## 入庁おめでとう

### Q 大阪府に期待することは?

### A 『財政難を立て直すと同時に 府民が暮らしやすい街づくりを』

#### 新入職員アンケート

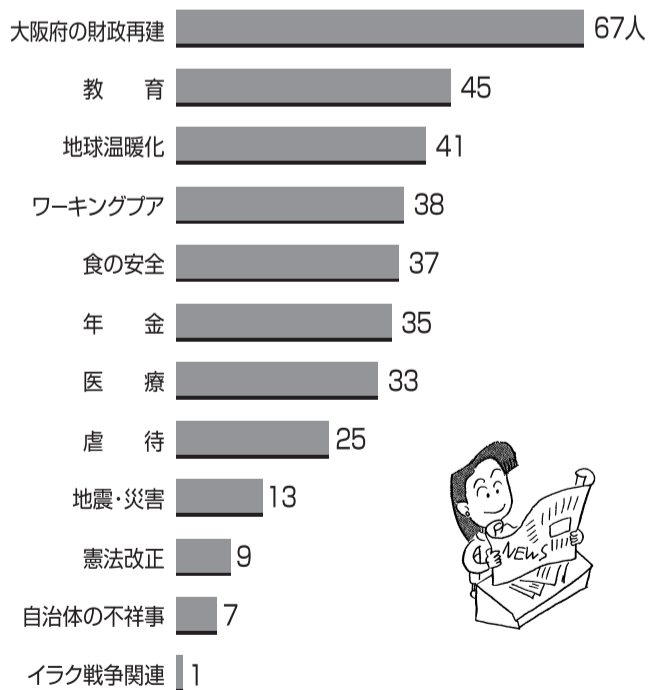
● 大切にしたいこと【行政・技術職】(複数回答)



● 大切にしたいこと【病院労組】(複数回答)



● 関心のある社会問題 (複数回答)



## 新規採用者が続々と労働組合に加入!!

## 「働きやすい職場環境にしてほしい」

4月1日、新規採用者432名(行政・技師202名、病院機構230名)が大阪府庁・病院機構の入庁式・研修に参加しました。府職労は、入庁式宣伝をはじめ、アンケート、組合説明会、喫茶店交流会などで労働組合の必要性と加入の訴えを行い、多くの新規採用者が労働組合に加入しました。

入庁式、組合説明会時に取り組んだアンケートは、7割を超える新規採用者から回答が寄せられました。「働く上で大切にしたいこと」の設問では、「仕事のやりがい」がトップで、次いで「職場の人間関係」でした。「今一番知りたいこと」(病院労組)の設問では、「職場の雰囲気や人間関係」が多く、「仕事のやりがい」を若干上回り、新しい環境に臨む新規採用者の緊張感がうかがえます。関心がある社会問題」の設問では、「大阪府の財政再建」が最も多く、「教育」「地球温暖化」「ワーキングプア」などが上位を占めました。

府立の病院を選んだ理由(病院労組)の設問では、「医療・看護が充実している」の回答が6割近くあり、地域医療の充実など府立病院が本来果たすべき役割を守り発展させる取り組みが求められています。「大阪府に期待すること」では、財政再建の実現、府民のための府政を、働きやすい職場環境を、府民の期待に応えてほしい、など回答がありました。

### 大阪府に期待すること

◎ 仕事・職場・生活に関すること

- ・ みがが一生懸命働く職場
- ・ より風通しの良い組織になってほしい
- ・ 住民だけでなく、職員の間でもパワーがあると思う、いい方向へ変化することを期待
- ・ 改革を職員と府民全員で成功させること
- ・ 給料、福利厚生をよりよく

◎ 財政再建

- ・ 財政を再建し、日本を引っ張ってほしい
- ・ 5兆円の負債を返済し、明るい未来を作りたい
- ・ 人件費削減だけでなく、他の削減できるところがあると思う。しっかりと事業の見直しをしてほしい
- ・ 財政再建を果たし、生活に大きな影響を与える内容となっています。府職労は、府民生活を守る立場の財政再建方針を提言する(5月24日「府民のつどい」を開催)ため、取り組みをすすめています。「財政再建プログラム試案」への意見など府職労本部へお寄せください。

◎ 大阪府の街づくり

- ・ 西日本最大の都市として情報を発信していく
- ・ 子どもが活き活きとした都市
- ・ 府民生活の改善、府民の利益向上
- ・ いい街にしましょう、明るい街にしてほしい
- ・ 本当の意味で「子どもの笑う街」になってほしい

寄せられた声を一部掲載します

## 遊歩道

今日、被爆者健康手帳を持つ人、全国で25万人。4月より原爆症の認定基準が変わりました。この苦しみは原爆が原因だと国に認めてほしい。原爆症は、病気や障害が原爆の放射線によるものとして厚労大臣が認定してききました。その数は被爆者の1%とも満たない2000人余りです。原爆被害を過小評価した認定行政が行われてきました。

この姿勢を改めさせようとして原爆認定申請を却下された被爆者が集団訴訟に立ち上がりました。その結果一昨年の大阪地裁の判決以来、どの裁判所においても「認定却下は不当」と原告勝利の判決を言い渡しました。長年の願いがやっとかなうとともに認定基準を変える原動力となりました。しかし、一定の前進はあるものの被爆者健康手帳を交付されている中に新たな線引きを持ち込み、全員救済の立場になつていない不十分なものです。国にむけて、引き続き被爆者全員を救済する認定方針の見直しに向け闘いは続きます。

どのようなことでも闘えば前進できる、この教訓を生かし確信をもって府民と組合員要求実現にむけ今後奮闘したい。